

長野県議会議員

改革・新風

ISAWA DAI

石和 大



「県政を身近に」「身近な声を県政に」

大ちゃんニュース

石和 大の県政レポート vol.9

石和 大、9回目の県政レポートをお届けします。



2013 6月定例県議会 一般質問(抜粋)

1. 信州型コミュニティスクールについて

【石和議員】目的である「学校と県民の協働による地域に開かれた信頼される学校」とはどのようなものか。

【教育長】課題や成果等の学校の情報を積極的に発信し、地域住民に届ける。それを踏まえ、学校への支援や、運営への参画をいただき、地域全体で子どもを育み、地域住民の声が学校に届くことにより、学校と地域の間で信頼関係が構築される。

【石和議員】教員の負担を減らすことも目的の一つとされているが、逆に学校の負担感が増すことが懸念されるのではないか。

【教育長】地域の方の中から学校と地域をつなぐコーディネーターを設

置することとしている。設置されれば、これまで教員が担ってきた学校支援ボランティア等の人材発掘・地域との調整を、コーディネーターが担うこととなるので、教員負担の軽減にもつながると考える。

2. 県立大学について

【石和議員】県立大学の学科設定で、県内において活躍できる人材が育成されるのか。

【阿部知事】新しい県立大学では、全学部・学科を通じて、県内企業や自治体と連携した実効性のあるインターンシップを行い、学生が長野県で働くことの意義や価値を見出すことにより、県内企業や自治体等への就職につなげていきたいと考えている。加えて、これまでの大学の在り方

3. 東御市の干ばつ対策について

【石和議員】東御市八重原、御牧原における水不足の課題について、農業用水に関する計画は複雑かつ高度なものであるため、県は、実態調査の実施や対策事業の計画策定など、技術面から積極的な支援をすべきと考えるが、いかがか。

【農政部長】県としては、現在の限られた水源を効率的かつ計画的に利用して漏水を回避するという視点で、関係市町

とは一線を画す大学として、大学改革に先駆的に取り組む、大学ガバナンスの確立を通して、将来にわたり県内企業や学生のニーズに的確に対応し、真に長野県の発展に貢献できる大学を目指す。

村・土地改良区からため池の新設や改修についての意見を伺っている。今後それらを踏まえ、既存のため池を最大限活用する浚渫や漏水対策など、農業用水の安定的な確保対策に向けた調査・計画策定に向けた技術面で積極的に支援していく。

【石和議員】新たな水源が必要となった場合、ため池の新設や既存のため池の改修に県としてどのように対応していくのか。

【農政部長】市町村や土地改良区から実際にため池の新設、改修について、具体的な要望があれば、本年のような農業への影響をもちたらないという観点から必要な事業予算を優先的に確保するように努めていく。

☆全文が県議会ホームページに掲載されております。そちらもご覧いただければ幸いです。

2013 9月定例県議会 一般質問(抜粋)

1. 技術者人材育成の在り方について

【石和議員】工科短大は開校以来優秀な人材を産業界に輩出しているが、現在の産業界が求める人材が育つのに、適切な施設設備が整っているのか。また、技術専門校の施設設備はどうか。

【商工労働部長】工科短大に設置されている機器については、県内企業の技術革新に対応した即戦力となる人材育成を促すために、優先順位を付け、計画的に更新してきた。また、技術専門校はものづくり産業を中心とした技術者育成を目的に県内に7校配置しており、地域の産業構造や企業ニーズ等を踏まえ、訓練科目の見直しや、必要な施設設備の補修更新を行ってきた。本定例会では、工科短大に最先端の工作機械や実験装置、測定器など3億7千万円余の補正予算を提案している。

2. 長寿県「長野」の更なる推進について

【石和議員】長野県の長寿の要素、要因をどう分析しているか。

【健康福祉部長】長野県の大きな特徴として、保健指導員や食生活改善推進員による健康づくりや健診の受信勧奨などの取り組みの成果が

業に対して、従業員の技能・技術向上のため、県ではどのような支援を行っているか。

【商工労働部長】県では、地域のニーズに対応した「スキルアップ講座」を県下の技術専門学校等で開催し、技能向上や技能継承の支援を行ってきた。また、国の基準に適合した職業訓練を認定し、経費を補助している。更に、今年度からは、国と連携した「ものづくりマイスター制度」をスタートさせて、各分野の熟練技能者が実技指導を行っていく。

【石和議員】平成26年6月に長野市で開催される、食育推進全国大会で長寿日本一の長野県が取り組む長野県をアピールすべきと考えるが、知事の意気込みを伺う。

【阿部知事】健康長寿世界一を目指す長野県にとっていいタイミング。是非とも成功させたい。食料や食文化の伝統や豊かな自然等長野県の素晴らしいさを全国に発信していく。

ある。また、公民館活動など、様々な分野において、住民自身が住民を支える組織や活動が県内各地で活発に行われてきたことがある。高齢者の就業率が全国一高く、更に野菜摂取量が全国一多い。肥満者が少ない、喫煙者が少ないなど、生きがいを持って健康に良い生活を送っている県民が多くなっている。などが考えられる。



大ちゃん活動スナップ

写真をお知らせする長野県議会議員・石和 大の活動報告



▲東御市民祭り(東御市)



▲みまきニュードカンコ(東御市)



▲政策課題・予算を知事に要望(長野県庁)